

こどもたちや地域の声を生かした、憩い、親しめる水辺を目指して

～「阿久和川【まほろば地区】河川環境再整備計画」を策定しました～

泉区を流れる阿久和川のまほろば地区※1では、これまで以上に安全で親しみやすい水辺空間となるよう、地元小学生や地域の皆様と阿久和川の将来像について検討を進めてきました。

このたび、阿久和川まほろば地区かわまちづくり計画※2が国の登録を受けたことに併せ、同計画における河川空間の具体的な整備内容を取りまとめた、「阿久和川【まほろば地区】河川環境再整備計画（以下、『計画』という。）」を策定しました。

今後は、計画に基づき、豊かな自然環境を生かしながら、まちと一体となった魅力ある水辺空間の再整備と、かわまちづくり計画に基づくソフト施策を一体的に推進し、誰もが憩い、交流し、にぎわいを感じられる水辺の実現を目指します。

※1 まほろば地区…泉区岡津町及び新橋町に位置し、阿久和川において平成5年度から「まほろばの川づくりモデル事業」として、5か所の親水拠点が整備されてきた地区。

※2 阿久和川まほろば地区かわまちづくり計画…まほろば地区における水辺空間の魅力向上や地域活性化を推進するための計画。
(参考)令和8年9月1日記者発表「阿久和川 水辺空間の魅力向上へ！～「阿久和川まほろば地区かわまちづくり計画」が国の支援制度に登録されました～」

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/izumi/2026/0901kawamachidukuri.html>

計画の概要

(1) 再整備のテーマ

～ひと・まち・生きものがつながる川づくり～

(2) 計画のポイント

- ★こどもたちの意見を取り入れた計画づくり
- ★誰もが安全・安心に利用できる河川環境への再整備
- ★地域活動や環境学習の場となる水辺空間の創出
- ★阿久和川の豊かな自然環境や景観資源を次世代に継承
- ★かわまちづくり計画と連携したにぎわいの創出



整備イメージ（集いのまほろば）

(3) 主な再整備内容

親水広場・スロープ・休憩施設（ベンチ・トイレ等） 等

計画の公表

計画の全文・概要版リーフレットは、横浜市ウェブページでご覧いただけます。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/kasen-gesuido/kasen/shoukai/shokai/akuwa.html>



計画はこちら

お問合せ先

河川流域調整課長 吉野 Tel 045-671-2818



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



阿久和川まほろば再整備の背景と目的

阿久和川は瀬谷区三ツ境付近を源流とし、横浜市内を瀬谷区、泉区、戸塚区にわたって流れる延長5.51km、流域面積14km²の境川流域(境川水系)に属する二級河川※です。

※ 都道府県知事が指定した河川

平成5年以降、“すべての人にやさしい河川環境の実現”を目標とした「まほろばの川づくりモデル事業」の一環として、泉区堂山橋～不動橋間約1.5kmを対象に、5つの親水拠点を整備し、多くの人々に愛されてきました。

整備から約30年が経過し、地域ニーズや取り巻く環境の変化のほか、施設の老朽化等を踏まえ、貴重な地域資源である河川空間のさらなる利活用が図られるよう、地域のまちづくりと一体となった川づくりを進めるため、まほろば地区の再整備を実施することとしました。



阿久和川の水質

阿久和川の水質は、平戸永谷川と合流後の柏尾川(吉倉橋)で観測されており、環境基準はC類型に指定されています。水の汚れ指標となるBOD(75%値)は令和6年度で0.7mg/Lとなっており、環境基準値(5mg/L)を下回り、良好な水質環境となっています。

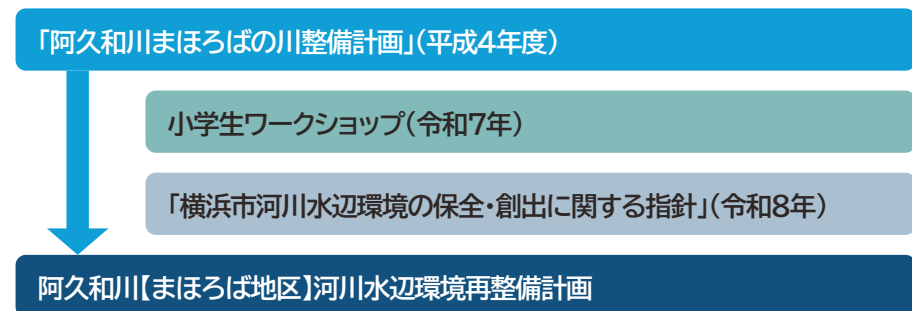
阿久和川の生きもの

阿久和川では、オイカワ、アブラハヤなどの魚類が多数生息し、ミナメダカ※のような貴重な種のほか、モクズガニなど海から遡上してくる種も確認されています。また、ホタルの餌となるカワニナや多数のトンボ類など市民にも身近な種類も確認されているなど、豊かな河川環境となっています。

※ 環境省レッドリスト：絶滅危惧Ⅱ類、神奈川県レッドデータブック：絶滅危惧ⅠA類に指定されている。

再整備検討の進め方

本事業は、「阿久和川まほろばの川整備計画」(平成4年度)の考え方を継承しつつ、「横浜市河川水辺環境の保全・創出に関する指針(令和8年3月策定)」のリーディングモデルとして、3つの基本方針を踏まえ、地域の子もたちや地元住民の意見を反映しながら、再整備計画の検討を進めていきました。



横浜市河川水辺環境の保全・創出に関する指針

「横浜市河川水辺環境の保全・創出に関する指針」は、市内の良好な河川水辺環境を保全・創出していくことを目的に、令和8年3月に策定しました。

本事業は、そのリーディング事業として、①快適②オープン③ネイチャーポジティブの3つの基本方針を踏まえた再整備を行っています。

快適
誰もが過ごしやすい
河川水辺環境

オープン
多様な形で関われる
河川水辺環境

ネイチャーポジティブ
自然回復に貢献する
河川水辺環境

「横浜市河川水辺環境の保全・創出に関する指針」の3つの基本方針

小学生ワークショップ

本事業の検討にあたっては、まほろばの拠点付近の2つの小学校で、阿久和川の水質調査や生き物観察やグループワークを実施し、阿久和川の将来をみんなで考えました。

ワークショップでいただいた子どもたちの意見を「自然・景観・安全・地域・利用」の5つの視点で整理し、本計画に反映しました。



- 自然**
 - ・生き物を増やす
 - ・虫捕り
 - ・自然を増やす など
- 景観**
 - ・きれいな川
 - ・花の植栽
 - ・ごみを減らす など
- 安全**
 - ・注意喚起看板
 - ・スロープ
 - ・手すり ・街灯 など
- 地域**
 - ・ゴミを減らすイベント
 - ・お祭り
 - ・生き物観察会 など
- 利用**
 - ・お花見 ・散歩
 - ・休憩 ・芝生広場
 - ・ベンチ ・ピクニック など

今後の整備スケジュール(予定)

整備予定箇所	R8	R9	R10	R11	R12	R13
出会いのまほろば						
集いのまほろば						
古えのまほろば						

お問い合わせ

横浜市 下水道河川局 河川部

電話 :045-671-4215

メール:gk-kasenchosei@city.yokohama.lg.jp

阿久和川【まほろば地区】 河川環境再整備計画



再整備のテーマ ひと・まち・生きものがつながる川づくり

これまで、日々の暮らしに寄り添う親水空間として多くの市民に親しまれてきた“阿久和川まほろば”の歴史を守り、未来に継承していくため、以下の3つのコンセプトを掲げ、阿久和川を中心に緑や生物・地域の人々・まちがつながり豊かになる、「素晴らしいところ＝“まほろば”」の川づくりを進めていきます。

まほろば再整備の視点

自然



景観



安全



地域



利用



憩いのまほろば



昔ながらの街並みの雰囲気ゆったりと浸りながら、水辺で憩う空間



ふれあいのまほろば



自然のやさしさとふれあい、人々のふれあいが感じられる水辺空間

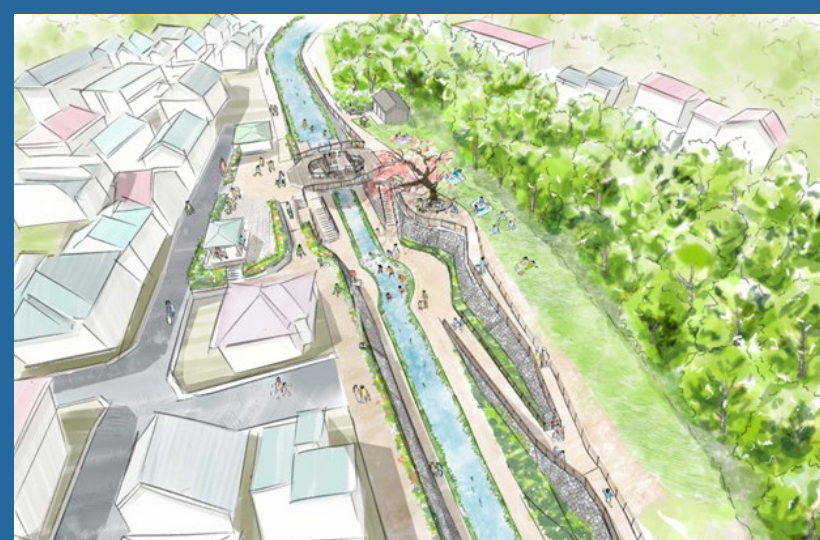
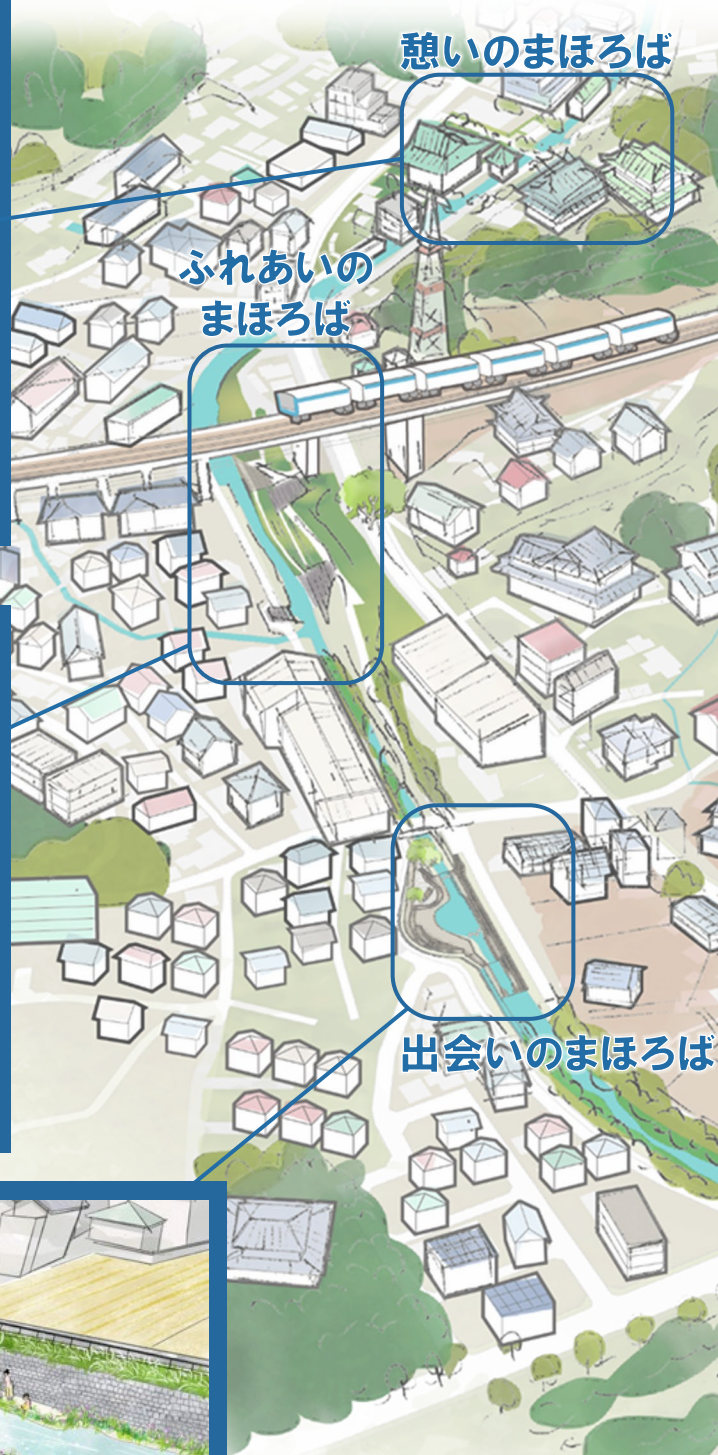


出会いのまほろば



自然に親しみ、発見や気づきが広がる水辺空間

スロープやデッキの改修により、だれもが水辺に近づける環境を整備する。生き物が生息しやすい環境づくりと、観察や休憩、交流ができる休憩施設を整備する。



集いのまほろば



にぎわいと憩いが調和し、多様な活動が生まれる水辺空間

スロープやデッキの改修により、だれもが水辺に近づける環境を整備する。水遊びや生き物採取ができる動的なエリアと、芝生やベンチでゆったりできる静的なエリアを整備する。



古えのまほろば



周辺の景観と調和し、なつかしさや風情を感じる水辺空間

ベンチの設置により、護岸上から川を眺められる環境を整備する。集いのまほろばにつながる水辺沿いの通路を整備し、水辺の回遊性を向上させる。

出会いのまほろば

集いのまほろば

古えのまほろば

川づくりのコンセプト

みんなにやさしい川 … 誰もが安心・安全で快適に過ごすことができる“まほろば”

地域とともに育む川 … 地域の人々が憩い、集い、交流し、地域とともに育てていく“まほろば”

自然とともに生きる川 … 生きものや植物と共生できる豊かな自然環境がある“まほろば”